

# 令和6年度 高浜市当初予算の概要

人と想いが  
つながつながるしあわせなまち  
大家族たかはま



高浜市総務部財務グループ

## 目 次

1	基本的な考え方	3
2	予算規模	4
3	歳入の状況（一般会計）	5
4	歳出の状況（一般会計）	7
5	市債の状況（借入・返済額と現在高）	9
6	基金（貯金）の状況	11

### 巻末資料

(1)	広報たかはま（4月1日号） 「令和6年度当初予算の概要」	14
(2)	主要・新規事業一覧	17

# 1 基本的な考え方

高浜市長期財政計画における財政調整基金の推計では、令和6年度から令和8年度における財政調整基金残高が10億円を下回ることが見込まれている。その上、DX推進やGX推進、子育て施策などの財政需要も高まりを見せており、新たな行政課題に着実に対応していくことが求められている。また、原油価格・物価高騰の影響も考慮すると、非常に厳しい財政状況であると言わざるを得ない。

そこで、令和6年度の予算編成では、バックカスティングの考え方に基づき、各事業における将来のあるべき姿から、現在の解決すべき課題を見出すとともに、新たな行政需要に対応するため、限られた財源の中で事業の選択と集中を図る「**未来に繋ぐ変革予算**」と位置づけ、予算編成を進めることとした。

## (1) 抜本的な事業の見直し

政策的に開始した事業であっても、現状の事業成果や5年後のあるべき姿から、真に必要な内容であるかを確認し、事業の縮小・廃止も含め、改めてそのあり方を見直すこと。また、見直しを行う際は、今後のDX化に伴う行政事務の変化や効率化を考慮するとともに、客観的な事実やデータを活用し実施すること。その他、新たな財源の確保、経常経費の削減については、継続し取り組むこと。

## (2) 事業の見直しによる経常経費の削減

新規事業の開始又は既存事業の拡充を行う場合は、その必要性や目指す成果を明確にし、成果の検証方法と達成期限を設けるとともに、各部局にて既存事業の優先順位を考え、事業の縮小・廃止を行うことにより、事業費を捻出すること。

## ○予算編成における重要取組事業

令和6年度予算編成は、以下、6事業を重点取組事業として位置づけた。

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| (1) 安心・安全な子育て環境に関する事業 | (2) 教育環境の向上に関する事業   |
| (3) DX推進に関する事業        | (4) 地球環境の保全に関する事業   |
| (5) 地域経済の活性化に関する事業    | (6) 地域共生社会の実現に向けた事業 |

## ○予算編成過程

8月	第1回予算編成会議の開催、サマーレビューの実施
9月	第2回予算編成会議の開催、予算編成方針の公表
11月	第3回予算編成会議の開催
12月	2役査定の実施
1月	第4回予算編成会議の開催、当初予算（案）の確定
2月	当初予算（案）の議会上程

## 2 予算規模

●一般会計予算規模 179 億 9,200 万円（前年度比＋1 億 7,020 万円）

【歳入】◆市税 定額減税の影響をうける（89 億 4,684 万円、前年度比＋9,570 万円）

◆繰入金 財政調整基金繰入 6 億 7,456 万円（前年度比▲5,834 万円）

【歳出】◆子ども関連として吉浜幼稚園長寿命化改修工事費、吉浜北部保育園空調設備更新工事費等を実施。

◆教育関連として港小学校プール解体工事費、南中学校外壁等改修工事設計業務委託料等を実施。

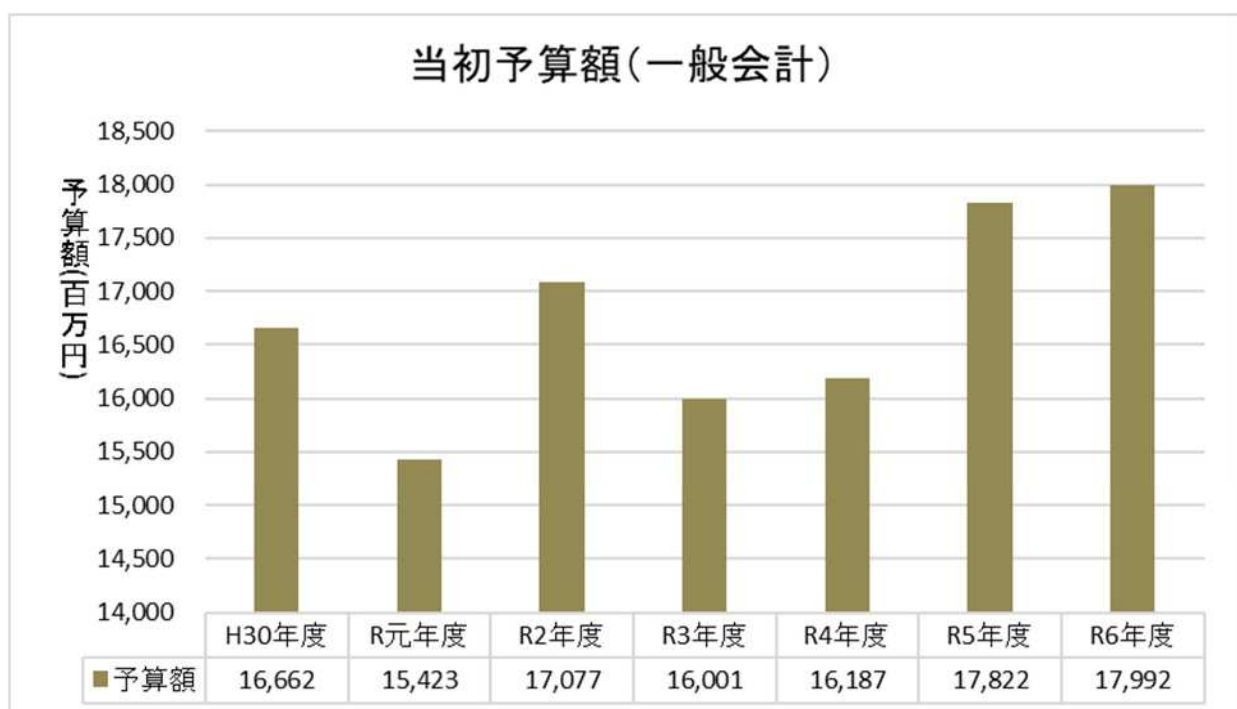
●特別会計を含む全会計の予算総額は、303 億 2,990 万円で、前年度比＋12 億 9,603 万円、4.5%増。

### (1) 全会計（当初予算）予算規模の比較

（単位：千円）

会 計 名		令和6年度	令和5年度	増(▲)減	増減率 (%)
一 般 会 計		17,992,200	17,822,000	170,200	1.0
特 別 会 計	国民健康保険事業	3,759,126	3,499,285	259,841	7.4
	土地取得費	47,359	43,732	3,627	8.3
	公共駐車場事業	32,693	34,020	▲1,327	▲3.9
	介護保険	3,112,288	3,040,309	71,979	2.4
	後期高齢者医療	706,273	591,444	114,829	19.4
	小 計	7,657,739	7,208,790	448,949	6.2
水道事業会計		1,422,050	1,357,136	64,914	4.8
下水道事業会計		3,257,915	2,645,952	611,963	23.1
合 計		30,329,904	29,033,878	1,296,026	4.5

### 当初予算額（一般会計）



### 3 歳入の状況（一般会計）

「市税」は、個人市民税において、定額減税等の影響により、前年度当初予算と比較し、△2億138万円、△6.4%の減額を見込む。法人市民税については、鉄工業関連などにおける法人税割の増により+5,412万円、+11.0%の増額を見込む。

市税合計においても、89億4,684万円で、定額減税等の影響により、前年度比△9,570万円、△1.1%の減額を見込むが、定額減税分については地方特例交付金にて補填される見込み。

「国庫支出金」は、吉浜幼稚園の長寿命化改良工事等に伴う、学校施設環境改善交付金の交付を見込む。また、ガバメントクラウドを活用した標準化システムの移行により、デジタル基盤改革支援補助金を6,496万円（前年度比+4,241万円）計上し、国庫支出金合計では、27億7,561万円（前年度比+2億7,397万円）を計上した。

「繰入金」は、引き続き高い水準で推移しており、財政調整基金から6億7,456万円（前年度比△5,843万円）の繰入金を計上するなどにより、繰入金合計では、9億1,430万円（前年度比△1億5,342万円）を見込む。

「市債」は、吉浜幼稚園長寿命化改良事業1億2,870万円（前年度比+8,100万円）を見込む一方、高取小学校長寿命化改良事業及び吉浜小学校長寿命化改良事業の前倒しなどにより前年度比△1億5,540万円の8億5,320万円を見込む。

#### (1) 一般会計（当初予算）歳入状況の比較

（単位：千円）

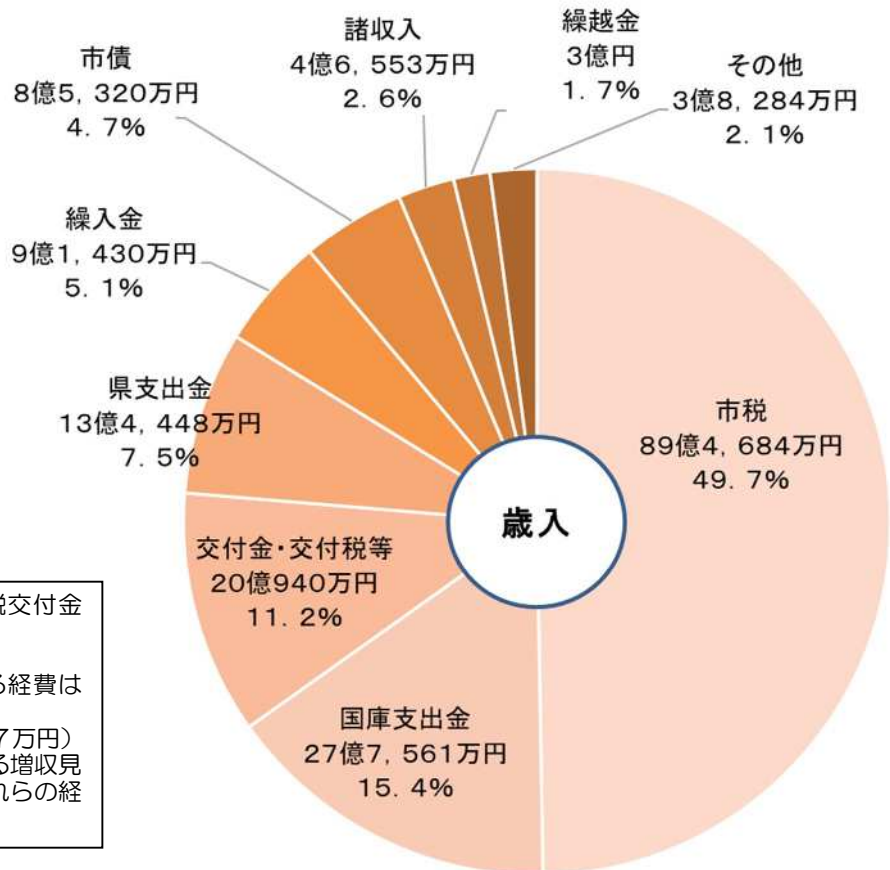
区 分	令和6年度	構成比 (%)	令和5年度	構成比 (%)	増(▲)減	増減率 (%)
市 税	8,946,841	49.7	9,042,543	50.7	▲95,702	▲1.1
地方交付税	100,000	0.6	100,000	0.6	0	0
国庫支出金	2,775,610	15.4	2,501,640	14.0	273,970	11.0
県支出金	1,344,482	7.5	1,318,930	7.4	25,552	1.9
繰 入 金	914,297	5.1	1,067,719	6.0	▲153,422	▲14.4
市 債	853,200	4.7	1,008,600	5.7	▲155,400	▲15.4
そ の 他	3,057,770	17.0	2,782,568	15.6	275,202	9.9
合 計	17,992,200	100.0	17,822,000	100.0	170,200	1.0

#### (2) 市税の内訳

（単位：千円）

税 目	令和6年度	令和5年度	増(▲)減	増減率 (%)
市 民 税	3,515,858	3,663,121	341,844	10.3
うち個人市民税	2,969,815	3,171,198	327,305	11.5
うち法人市民税	546,043	491,923	14,539	3.0
固定資産税	4,101,181	4,065,839	90,134	2.3
軽自動車税	137,921	137,921	7,308	5.6
市たばこ税	370,188	370,188	49,140	15.3
都市計画税	805,474	805,474	26,257	3.4
合 計	9,042,543	9,042,543	514,683	6.0

**歳入**



●消費税率引上げによる地方消費税交付金増収分の使途  
 令和6年度の社会保障施策に要する経費は事業費79億3,849万円（うち一般財源38億9,527万円）となっており、消費税率引上げによる増収見込額6億2,073万円を、全てこれらの経費に充当しています。

**コラム 市によって納める税金（市税）に差があるの？**

「高浜市の税金は他の市より高いんじゃない？」…という声を聞くことがあります。はたして違いがあるのでしょうか？市に納められた税金で金額が大きいものは、①市民税 ②固定資産税の2種類があり、この2種類について紹介します。

**①市民税（所得割）**

税額の算出方法： $\{ ( \text{所得金額} - \text{所得控除額} ) \times \text{税率} \} - \text{税額控除額}$

ポイントは「税率」ですが、「税率」は一般的には「標準税率」というものがあり、西三河地方の各市と同様に高浜市もその税率を使っています。したがって、市民税が高いということはありません。

市町村	税率
高浜市	標準税率
西三河各市	標準税率

**②固定資産税**

税額の算出方法： $\text{土地や家屋などの固定資産税課税標準額} \times \text{税率}$

土地や家屋などの資産評価の基準は法律で決まっています、高浜市も基準に沿って評価していますので課税標準額は変わりません。「税率」についても全国の多くの自治体と同様に「1.4%」となっています。したがって、固定資産税が高いということはありません。

市町村	税率
高浜市	1.4
全国	1.4

(※一部超過課税を実施している自治体もあります)

## 4 歳出の状況（一般会計）

「総務費」は、自治体情報システム標準化・共通化業務委託料、南部ふれあいプラザ耐震補強工事等により、前年度比+2,583万円、1.4%増。

「民生費」は、児童手当、障害福祉サービス給付費、民間保育所運営委託料、ソフトウェア標準化業務委託料、生活保護費、ケアハウス外壁改修工事費、吉浜北部保育園空調設備更新工事等により、前年度比+5億6,329万円、7.9%増。

「衛生費」は、健康たかはま21計画策定業務委託料、カーボンニュートラル推進支援補助金等を見込む一方、新型コロナウイルス感染症対策推進事等により前年度比▲106万円。

「商工費」は、コミュニティバス運行事業費負担金等を見込む一方、企業再投資促進補助金、いきいき号循環事業補助金等により、前年度比▲4,157万円、▲14.8%減。

「土木費」は、市営住宅改修工事費、道路改良工事費、道路橋りょう修繕工事費、下水道事業会計補助金、中根橋架け替え工事負担金等により前年度比+4億5,367万円、27.9%増。

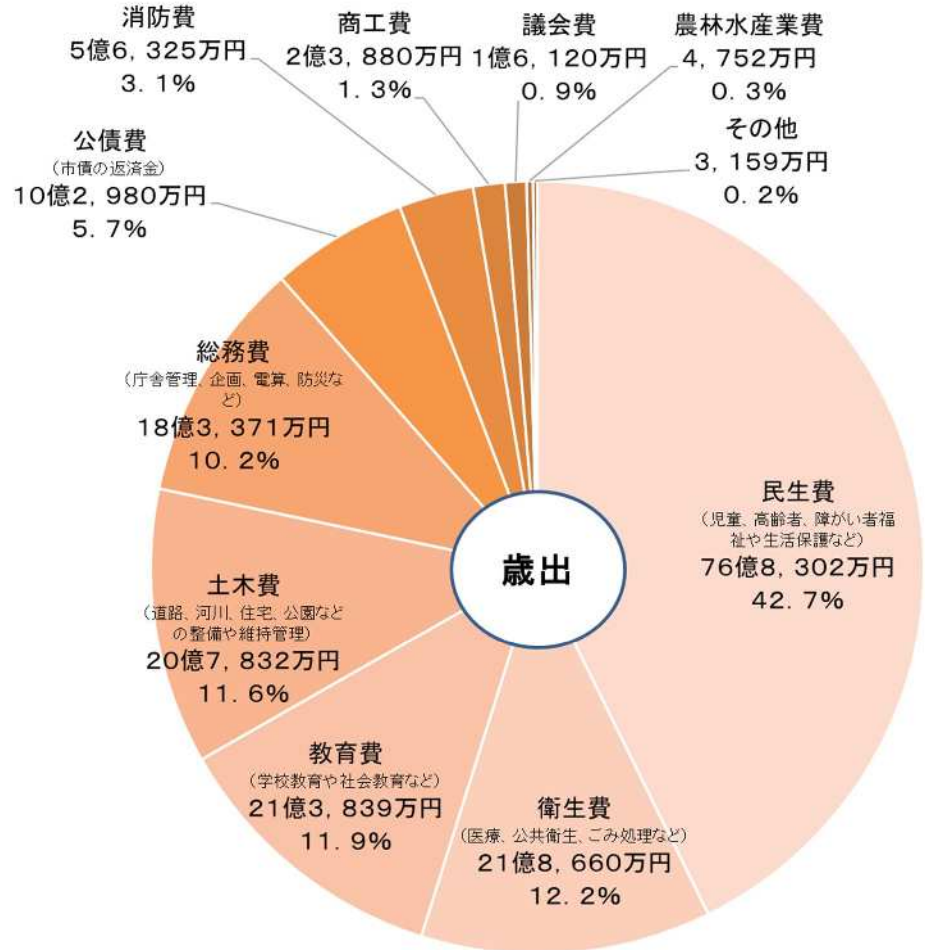
「教育費」は、港小学校プール解体工事費、吉浜幼稚園長寿命化改修工事費等を見込む一方、高取小学校長寿命化改良事業及び吉浜小学校長寿命化改良事業の前倒しなどにより前年度比▲8億8,012万円、▲29.2%減。

「公債費」は、高浜中学校音楽室増築事業、高浜中学校屋外トイレ改修事業等の元金償還開始により、前年度比+1,604万円、1.6%増。

(単位：千円、%)

科 目	令和6年度		令和5年度		増 減	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増(▲)減	増減率
議 会 費	161,195	0.9	161,740	0.9	▲545	▲0.3
総 務 費	1,833,715	10.2	1,807,883	10.1	25,832	1.4
民 生 費	7,683,017	42.7	7,119,731	39.9	563,286	7.9
衛 生 費	2,186,605	12.2	2,187,669	12.3	▲1,064	0.0
労 働 費	1,584	0.0	1,588	0.0	▲4	0.0
農林水産業費	47,520	0.3	50,098	0.3	▲2,578	▲5.1
商 工 費	238,800	1.3	280,370	1.6	▲41,570	▲14.8
土 木 費	2,078,320	11.6	1,624,683	9.1	453,637	27.9
消 防 費	563,245	3.1	525,962	3.0	37,283	7.1
教 育 費	2,138,393	11.9	3,018,514	16.9	▲880,121	▲29.2
災 害 復 旧 費	4	0.0	4	0.0	0	0.0
公 債 費	1,029,801	5.7	1,013,757	5.7	16,044	1.6
諸 支 出 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
予 備 費	30,000	0.2	30,000	0.2	0	0.0
合 計	17,992,000	100.0	17,822,000	100.0	170,200	1.0

## 歳出



## 用語解説

### 議会費

議員の報酬や議会事務局の person 費、議会運営などにかかる経費

### 総務費

市庁舎の管理、防災、戸籍住民基本台帳などにかかる経費

### 民生費

児童、高齢者、障がい者などの福祉にかかる経費

### 衛生費

ごみ処理、医療、保健衛生などにかかる経費

### 労働費

労働者の就労支援などにかかる経費

### 農林水産業費

農業の振興、技術の普及などにかかる経費

### 商工費

商工業の振興、技術の普及や観光などにかかる経費

### 土木費

道路・河川・公園などの整備や維持管理にかかる経費

### 消防費

消防団活動や広域消防にかかる経費

### 教育費

学校教育、社会教育などにかかる経費

### 公債費

市の借金の返済にかかる経費

### 予備費

緊急に支出を必要とする場合に備えて用意している経費



## 5 市債の状況（借入・返済額と現在高）

### 市債残高の推移

（単位：千円）

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
一般会計	普通債	6,122,362	6,237,161	6,263,756	7,416,850	7,703,166
	臨時財政対策債等	3,814,083	3,342,529	2,867,371	2,420,071	2,023,822
	小計	9,936,445	9,579,690	9,131,127	9,836,921	9,726,988
企業会計	下水道事業会計	7,279,478	7,337,308	7,781,474	7,972,830	8,611,071
	水道事業会計	614,681	577,895	539,687	505,905	492,848
合計		17,073,694	17,830,604	17,452,288	18,315,656	18,777,575

備考 市債残高は、令和2年度から令和4年度までは決算額、令和5年度及び令和6年度は見込額を示す。

市債の発行・償還額と年度末現在高（全会計）



## Q. 市債（借金）はどれくらいあるの？

### 解説

Q. なぜ、市債を発行する（借金をする）の？

A. 公共施設の建設など、いわゆる社会資本の整備には、一度に多額の経費がかかります。その経費を調達するために市債を発行します。市債には主に、次の2つの考え方があります。

- ①現役世代だけではなく、将来世代においても、整備された社会資本を利用しますので、税負担の公平性の観点から、将来世代にもその財政負担の一部をお願いするというもの。
- ②社会資本の整備に当たり、整備年度において、一括して財源を負担することは、当該年度の財政運営に支障を及ぼす恐れがあり、適切ではないため、負担の平準化を図るというもの。

Q. 市債（借金）残高はこれまでどうだったの？これから先はどうなるの？

A. 平成13年度には、市債残高は255億円ありましたが、平成29年度までは市債の残高は年々減ってきていました。これは、「かわら美術館」や「三河高浜駅付近」をはじめとする市街地の再開発などに借りたお金の返済が進んでいったためです。また、これまでは投資的経費が低かったため、市債の発行が少なかったことも理由のひとつです。しかし、令和3年度、令和4年度については市債の発行額より元金償還額の方が若干上回り、市債残高は微減となっていますが、令和5年度、令和6年度については小学校長寿命化改良事業等の影響で発行額が元金償還額を上回っています。今後についても、老朽化した公共施設（小中学校）の改修が見込まれ、その財源として借入れをする予定です。その結果、令和6年度末の残高は188億円と見込んでおりますが、今後も市債残高は増えていくことが予想されます。

【参考】 地方債（市債）現在高／標準財政規模（％） 91.2％（愛知県内23位／37市）

（令和4年度地方財政状況調査結果より。名古屋市は除く。）

令和4年度末の本市の標準財政規模に対する地方債現在高（一般会計）の割合は、91.2%となりました。愛知県内の自治体と比較すると順位は中位となりますが、この数値が低いほど将来の財政負担が少ないことを意味しており、財政の弾力性を確保する要素となっています。

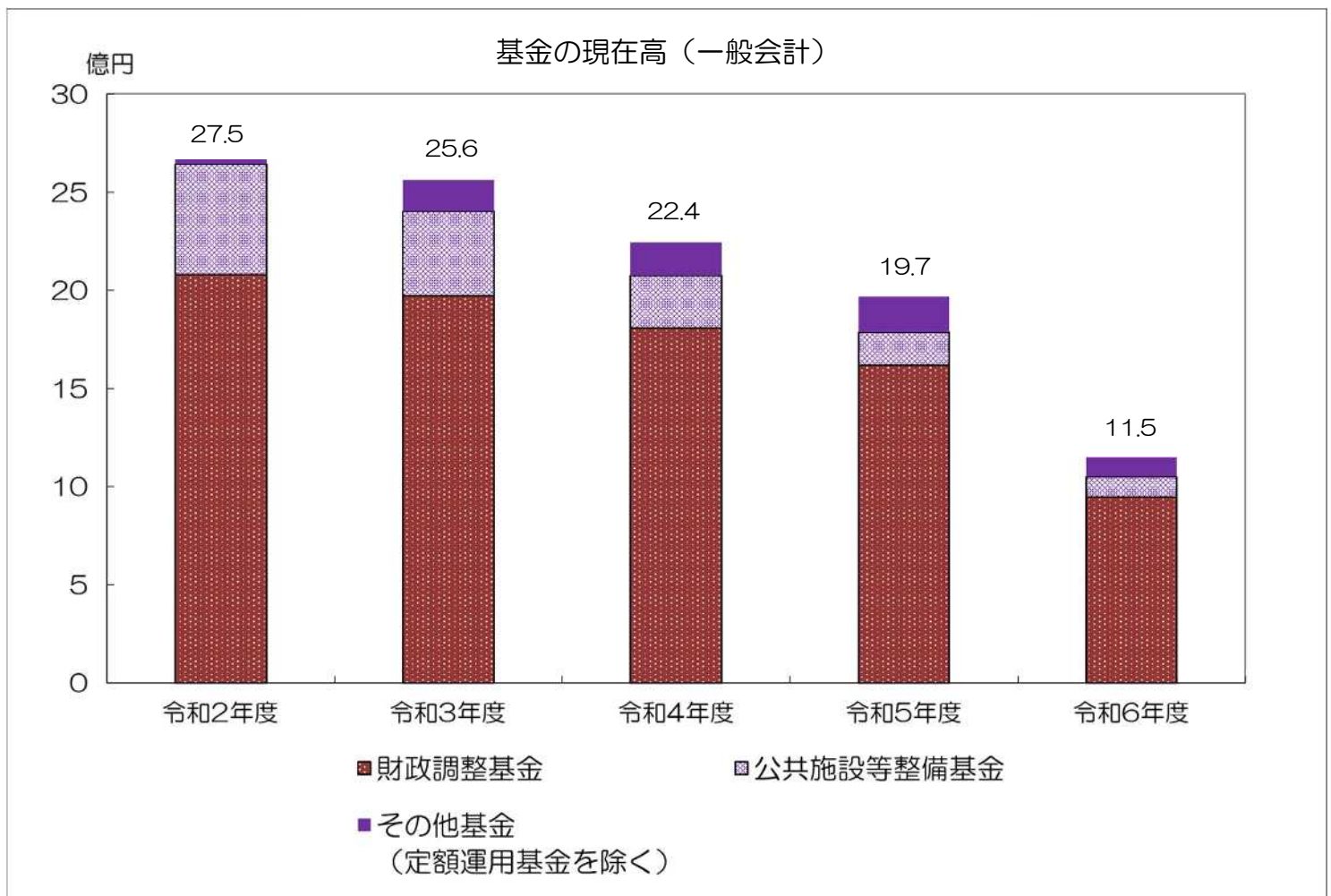
## 6 基金（貯金）の状況

### 基金年度末残高の推移

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
財政調整基金	2,080,187	1,973,133	1,809,120	1,619,308	945,834
公共施設等整備基金	565,937	431,084	266,905	166,241	102,832
その他基金 (定額運用基金を除く)	106,723	159,906	166,908	184,103	100,652
合 計	2,752,847	2,564,123	2,242,933	1,969,652	1,149,318

備考 基金の年度末残高は、令和2年度から令和4年度までは決算額、令和5年度及び令和6年度は見込額を示す。



Q.

市の基金（貯金）はどれくらいあるの？

## 解説

Q. 基金（貯金）の状況は？

A. 高浜市には突然の不景気や大規模災害、昨今の新型コロナウイルス感染症などに対応し、何の目的にも使える自由度の高い基金である「財政調整基金」や学校などの公共施設の整備に使うための「公共施設等整備基金」などの基金があります。

リーマンショック前、「財政調整基金」残高は20億円を超えていましたが、リーマンショックの影響により毎年使うお金が市税などの収入では足りず、基金を崩した結果、平成24年度には10億円まで減少しました。その後、残高は増加傾向にありましたが、公共施設の長寿命化改良工事等により、令和6年度末の残高は9.5億円まで減少することを見込んでいます。

Q. 公共施設整備の基金は？

A. 公共施設等の整備に必要な財源を確保するため、平成21年度に「公共施設等整備基金」を設置し、計画的な積み立てを行ってきました。このように積み立てしてきたお金を、学校の長寿命化改良事業を始めとする、公共施設の整備のために使う予定です。

【参考】基金（積立金）／標準財政規模（％） 24.7％（愛知県内36位／37市）

（令和4年度地方財政状況調査結果より。名古屋市は除く。）

令和4年度末の本市の標準財政規模に対する基金現在高の割合は、24.7％でした。このことは、将来の財源不足への対応や大規模な災害が発生した場合の財政余力が県内他市に比べて乏しいことを示しています。

Q. 基金（貯金）はいくらあるのが理想なの？

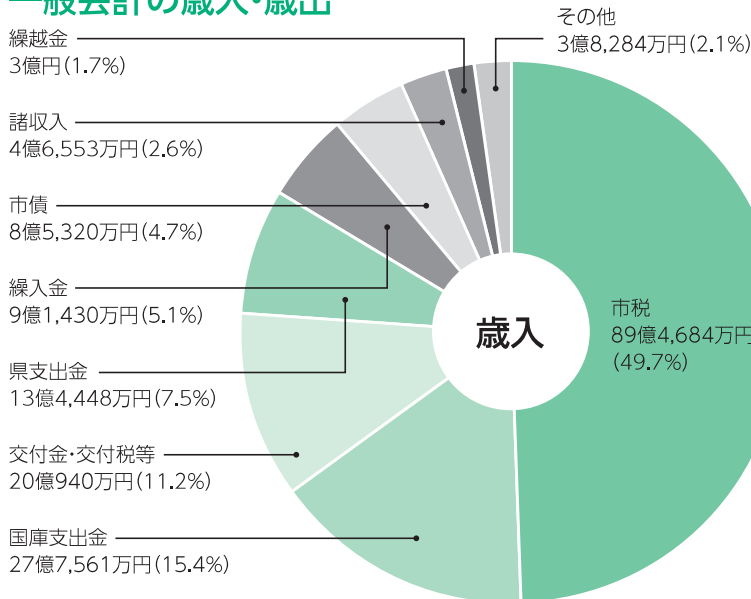
A. 財政運営の安定化を図るためには、財政調整基金の積み立てが必要です。

一般的に、財政調整基金残高の目安は、標準財政規模の10％といわれ、本市では10億円となりますが、リーマンショックの影響で10億円減少したことを踏まえ、目標額を20億円と設定しています。

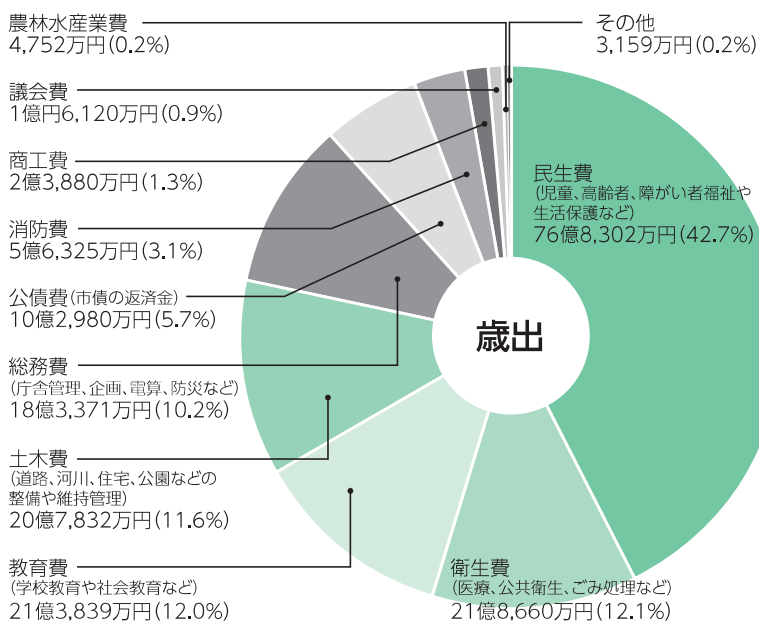
# 巻末資料

- (1) 広報たかはま（4月1日号）  
「令和6年度当初予算の概要」
- (2) 主要・新規事業一覧

## 一般会計の歳入・歳出



- 主なもの**
- 市税
    - 個人市民税・・・29億6,982万円 (前年度比 6.4%減)
  - 地方特例交付金・・・3億3,400万円 (前年度比 229.9%増)
  - 繰入金 (主なもの)
    - 財政調整基金繰入・・・6億7,456万円 (前年度比 8.0%減)



- 主なもの**
- 民生費
    - 高齢者、障がい者福祉などに対する事業費 (社会福祉費)・・・38億1,705万円
    - こどもの福祉などに対する事業費 (児童福祉費)・・・34億7,591万円
  - 衛生費
    - 保健、予防接種などの事業費 (保健衛生費)・・・11億 288万円
  - 教育費
    - 小学校の維持管理などの事業費 (小学校費)・・・7億2,988万円

### 一般会計とは

一般会計とは、市の会計の基本となるもので、市税収入をおもな財源として、福祉の充実や道路の整備など市の基本的な施策に要する経費を経理する会計です。

### 特別会計とは

特別会計とは、特定の事業を行う場合に、その特定の収入を特定の支出に充て、一般会計と別に経理する会計です。

### 企業会計とは

企業会計とは、独立採算による特定の事業を経理する会計です。

# 令和6年度 当初予算の 概要

新年度予算の概要をお知らせします。

問合せ先 財務グループ  
☎52-1111  
(内線312)

## 当初予算 全会計総額

**303億2,990万円**  
(前年度比4.5%増)

一般会計  
**179億9,220万円**  
(前年度比1.0%増)

特別会計  
**76億5,774万円**  
(前年度比6.2%増)

<内訳>

国民健康保険事業	37億5,913万円
土地取得費	4,736万円
公共駐車場事業	3,269万円
介護保険	31億1,229万円
後期高齢者医療	7億6,277万円

企業会計

**46億7,996万円**  
(前年度比16.9%増)

<内訳>

水道事業	14億2,205万円
下水道事業	32億5,791万円

# 第7次高浜市総合計画体系別主要事業と 主な当初予算

## 基本目標Ⅰ 手を取り合ってみなでまちをつくろう

- 未来を担うこども・若者の声を聴き、市政にいかしていくため、小学校高学年から大学生を対象に市の取組みについて学ぶ機会として、こども若者会議を設けます。
- 若者の挑戦を応援していくため、市民予算枠事業交付金(協働推進型)に若者応援版を新設します。
- 町内会の負担軽減を図り、町内会員間での情報共有を活性化し、町内会の存在意義を高める取組みのひとつとして、町内会運営支援システムのモデル導入を進めます。
- 自治体情報システムの標準化を進めるとともに、各種証明書などの発行手数料に関するキャッシュレス決済の導入、おくやみ窓口の設置など、書かない・待たない・行かないデジタル窓口の実現をめざし取り組みます。
- 情報管理を徹底するため、情報セキュリティポリシーの運用のための職員研修を実施します。



▲町内会行事のようす

### 基本目標Ⅰを進めるための主な当初予算

- 電子契約システム使用料(新規) ..... 3万円
- 町内会運営支援システム使用料(新規) ..... 76万円
- 南部ふれあいプラザ耐震補強工事費等(新規) ..... 2,291万円
- こども若者会議運営業務委託料(新規) ..... 39万円
- 自治体情報システム標準化・共通化業務委託料(継続) ..... 5,115万円
- キャッシュレス決済導入業務委託料等(新規) ..... 478万円

## 基本目標Ⅱ みんなで学び・高め合い 高浜の未来を育もう

- 令和6年4月から、こどもを育てる保護者だけでなく、こども自身が相談できる窓口としてこども家庭センターを開設し、「こどもまんなか」の取組みを進めます。
- 保育環境などの整備として、吉浜幼稚園の長寿命化改修工事や吉浜北部保育園の空調設備更新工事を行うなど、子育て環境の充実を図るとともに、待機児童のない安全・安心な保育をめざします。
- 基礎学力の育成や「人・もの・こと」との関わり合いを重視した教育活動の実施などを実践し、自分・仲間・社会の幸せのために学び続けるこどもを育みます。
- 高取小学校および吉浜小学校の長寿命化改良工事、高取小学校給食施設改築工事を着実に実施するとともに、南中学校外壁等改修工事にかかる設計業務など、学校施設の改善を進めます。
- これまでの歴史や文化を学び・伝えていく「たかほま歴史・文化保存事業」や「かわら美術館・図書館」など、「知りたい」「やってみたい」といった感覚を刺激し、学び、発見する楽しみを生み出す取組みを引き続き進めます。



▲かわら美術館・図書館

### 基本目標Ⅱを進めるための主な当初予算

- 吉浜北部保育園空調設備更新工事費(新規) ..... 743万円
- 港小学校プール解体等工事費等(新規) ..... 1億3,927万円
- 南中学校外壁等改修工事設計業務委託料(新規) ..... 875万円
- 吉浜幼稚園長寿命化改修工事費等(継続) ..... 1億8,345万円

教育行政方針  
(P8)も参照  
してください。

### 基本目標Ⅲ 行きたい 住みたい 住み続けたい 魅力がつながるまちをつくろう

- 快適な暮らしを支える都市基盤の整備として、道路、橋りょう、公園、水道施設などの計画的な維持・修繕を行います。
- 局地的集中豪雨などへの雨水対策として、八幡町、新田町の排水施設の工事に着手します。
- 「いきいき号」を、AI(人工知能)を活用したデマンド型交通へと進化させていくための実証運行を10月ごろから開始し、「誰一人取り残さない」利便性の高い移動手段を確保し、市民に喜ばれる公共交通網の形成を図ります。
- 市内の消費喚起を図り、事業者を支援するため、市内の事業所で利用できる電子クーポンを、市公式LINEを活用して配信します。
- 脱炭素社会、循環型社会に向けた環境施策を推進します。
- 2030年までに、設置可能な公共施設の建築物などの50%に太陽光発電設備の導入を進めます。
- 個人向けの「スマートハウス設備設置費補助金」に加えて、事業者向けに省エネ診断促進補助およびその診断結果にもとづく省エネ設備などの導入を支援する、「カーボンニュートラル推進支援補助金」を創設し、ゼロカーボンの実現に向けた取組みを推進します。



▲いきいき号

#### 基本目標Ⅲを進めるための主な当初予算

- カーボンニュートラル推進支援補助金(新規) ……420万円
- コミュニティバス運行事業費負担金(新規) ……1,770万円

### 基本目標Ⅳ 心もからだも元気 毎日を笑顔で暮らそう

- 第3次「健康たかほま21計画」および第2次「自殺対策計画」の策定を進めます。
- 土砂災害警戒区域および特別警戒区域が追加指定されたことをふまえて防災マップを修正します。
- 新たに「防犯カメラ設置費補助金」を創設し、犯罪抑止のための防犯カメラの設置を支援します。



▲総合防災訓練のようす

#### 基本目標Ⅳを進めるための主な当初予算

- 防犯カメラ設置費補助金(新規) ……100万円
- 高浜老人ふれあいの家改修工事費(新規) ……955万円
- 重層的支援体制整備事業(新規) ……58万円
- 自殺対策計画策定業務委託料等(新規) ……451万円
- 健康たかほま21計画策定業務委託料等(新規) ……481万円

市民1人あたりの予算  
(行政サービスの額)  
**36万5千円**  
(前年度比2千円増)

計算方法	一般会計
	令和6年1月1日現在の人口(49,249人)

市民1人あたりの借金  
**37万2千円**  
(前年度比1万8千円増)

計算方法	(一般会計+特別会計+企業会計)の 令和6年4月1日借入残高の合計
	令和6年1月1日現在の人口(49,249人)

内訳	教育費	商工費
	4万3千円(前年度比1万8千円減)	5千円(前年度比1千円減)
民生費	消防費	総務費
15万6千円(前年度比1万2千円増)	1万1千円(増減なし)	3万7千円(増減なし)
	衛生費	公債費
	4万4千円(前年度比1千円減)	2万1千円(増減なし)
	土木費	その他(農業・議会など)
	4万2千円(前年度比9千円増)	5千円(増減なし)

詳しくは、予算をわかりやすく解説した『当初予算の概要』の冊子を参照してください。市役所や市公式ホームページで入手できます。



## (2) 主要・新規事業一覧

NO	事業名	事業費	頁
1	入札契約検査管理事業（電子契約システム使用料）	27 千円	18
2	市民活動運営事業（町内会運営支援システム使用料）	759 千円	19
3	地域内分権推進事業 （南部ふれあいプラザ耐震補強工事費等）	22,911 千円	20
4	みんなでまちづくり事業 （こども若者会議運営業務委託料）	391 千円	22
5	総合住民情報管理事業 （自治体情報システム標準化・共通化業務委託料）	51,150 千円	24
6	防犯活動推進事業（防犯カメラ設置費補助金）	1,000 千円	26
7	ICT 推進事業・市税賦課事業・戸籍住民基本台帳事務事業 （キャッシュレス決済導入業務委託料等）	4,779 千円	28
8	老人憩の家等管理運営事業 （高浜老人ふれあいの家改修工事費）	9,546 千円	30
9	重層的支援体制整備事業	584 千円	32
10	保育園管理運営事業 （吉浜北部保育園空調設備更新工事費）	7,434 千円	34
11	老人・成人保健事業 （自殺対策計画策定業務委託料等）	4,508 千円	35
12	老人・成人保健事業 （健康たかはま21計画策定業務委託料等）	4,812 千円	36
13	環境衛生対策推進事業 （カーボンニュートラル推進支援補助金）	4,200 千円	37
14	コミュニティバス運行事業 （コミュニティバス運行事業費負担金）	17,704 千円	38
15	小学校長寿命化改良事業 （港小学校プール解体工事費等）	139,271 千円	40
16	中学校維持管理事業 （南中学校外壁等改修工事設計業務委託料）	8,754 千円	42
17	幼稚園維持管理事業 （吉浜幼稚園長寿命化改修工事費等）	183,453 千円	44

主要・新規事業等

事業名等	入札契約検査管理事業（電子契約システム使用料）【新規】												
担当グループ	総務部財務グループ												
総合計画区分	基本目標	I 手を取り合って みんなでまちをつくろう						個別目標	(3) 時間と場所を選ばない 行政サービスを提供します				
予算区分	会計	一般会計		款	02総務費		項	01総務管理費		目	01総務管理費		
	事業名	03入札契約検査管理事業											
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	行政事務のDX化が求められる中で、従来書面により締結していた契約の電子化を行う。											
	目的（何のために）	職員及び事業者の契約事務に係る事務的負担及び金銭的負担の軽減を図るため。 ・製本押印、郵送にかかる手間と時間が短縮されることによる事務的負担の軽減 ・事務費（郵送代）の削減 ・事業者が契約書に貼付する収入印紙代の削減 ・書面での契約が電子に代わることによるペーパーレス化の推進      等											
	対象（誰・何を対象に）	本市が締結する契約（令和6年度は入札案件を対象）											
	事業内容（手段、手法など）	・電子契約システムの導入・運用 ・職員及び事業者へのシステム概要の説明											
目指す成果（期待される効果）	従来書面にて締結していた契約を電子にて締結することにより、職員及び事業者において契約締結に関する事務効率化、コスト削減及びペーパーレス化が期待される。												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
	入札案件について電子契約にて契約締結を行う。										令和7年3月		
令和6年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）									
	27 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					27
事業費積算内容	・電子契約システム使用料（導入支援費用含む）27千円												
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	契約手続き												
予算書及び予算説明書該当ページ	97ページ												

主要・新規事業等

事業名等													市民活動運営事業（町内会運営支援システム使用料）【新規】																							
担当グループ													企画部総合政策グループ																							
総合計画区分													基本目標 I 手を取り合って みんなでまちをつくろう						個別目標 (1) ずっと住み続けたいまちを みんなで一緒につくります																	
予算区分													会計 一般会計		款 O2総務費		項 O1総務管理費		目 O3市民活動支援費																	
アクションプラン													■該当する □該当しない																							
事業概要	事業の必要性・実施の背景													日常生活の基盤である地域社会を住みよい豊かなものとするために、そこに住む人たちが力を合わせて取り組む町内会の活動は大変重要である。 町内会の必要性を理解し、実感していただくとともに、役員等の負担を軽減していく必要がある。																						
	目的（何のために）													町内会における情報発信・共有のプラットフォームをデジタル化し、役員間や会員に対する迅速な情報発信・共有を可能にするとともに、役員等の負担を軽減するため。																						
	対象（誰・何を対象に）													町内会加入者（町内会加入世帯）																						
	事業内容（手段、手法など）													《実施内容》 町内会運営支援アプリ（電子回覧板）を導入する。 ＊全町内会に一齐に導入するのではなく、モデル町内会にて導入し、その効果等を検証し、有効性が確認できれば拡充をしていく。 《手段》 ・電子回覧板を利用する市職員に向けて使い方説明会を実施する。 ・町内会に向けて使い方説明会を実施する。 ・電子回覧板の利用を開始する。																						
目指す成果（期待される効果）													町内会役員間や会員に対する迅速な情報発信・共有が可能になるとともに、情報発信・共有に係る役員等の負担を軽減することができる。																							
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）													目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）														
													モデル町内会として5町内会程度でアプリの導入を行う。 ※システム利用開始は令和7年1月頃予定									令和7年3月														
令和6年度													事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）																				
													759 千円			国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源												
																						759														
事業費積算内容													町内会運営支援システム使用料 759千円																							
令和6年度													4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
													第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期											
事業実施スケジュール													☆契約事務		☆デザイン・機能説明 と改善内容のヒアリング		☆デザイン・機能説明 と改善内容のヒアリング		☆β版確認		☆説明会		☆運用開始													
予算書及び予算説明書該当ページ													99ページ																							

主要・新規事業等

事業名等	地域内分権推進事業 (南部ふれあいプラザ耐震補強工事費等) 【新規】												
担当グループ	企画部総合政策グループ												
総合計画区分	基本目標	I 手を取り合って みんなでまちをつくろう						個別目標	(1) ずっと住みたいまちを みんなで一緒につくります				
予算区分	会計	一般会計		款	02総務費		項	01総務管理費		目	03市民活動支援費		
	事業名	03地域内分権推進事業											
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	南部ふれあいプラザ耐震診断等業務委託の結果、基準値を満たさないことが判明した。南部ふれあいプラザは、市民相互の連帯感及び住民自治の向上を図るとともに、高齢者、障害者、子どもたちをはじめすべての市民が地域における支え合いの下で、やすらぎと心の豊かさを日々実感できる地域共生社会の構築を目指す施設であり、高浜南部まちづくり協議会の拠点施設であることから、今後施設を使用していくにあたり、早急に対応する必要がある。											
	目的 (何のために)	南部ふれあいプラザの耐震補強工事を行うことで、利用者の安全・安心を確保するため。											
	対象 (誰・何を対象に)	南部ふれあいプラザ											
	事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「南部ふれあいプラザ耐震補強工事実施設計業務委託」による設計書をもとに、南部ふれあいプラザ耐震補強工事を実施する。</li> <li>南部ふれあいプラザ耐震補強工事監理業務を委託する。</li> </ul>											
目指す成果 (期待される効果)	南部ふれあいプラザの耐震補強工事を行うことで、施設の設置目的である市民相互の連帯感及び住民自治の向上を図るとともに、高齢者、障害者、子どもたちをはじめすべての市民が地域における支え合いの下で、やすらぎと心の豊かさを日々実感できる地域共生社会を構築する。												
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)		
	南部ふれあいプラザに対する耐震補強工事を行うことで、利用者の安全・安心を確保する。										令和6年12月		
令和6年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)									
	22,911 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
					20,500	2,300	111						
事業費積算内容	南部ふれあいプラザ耐震補強工事費 16,080千円 南部ふれあいプラザ耐震補強工事監理業務等委託料 6,831千円												
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール			→ 入札										
			→ 契約締結										
											→ 耐震補強工事		
											→ 工事監理		
予算書及び予算説明書該当ページ			101ページ										

これまでの主な取組と成果						
事業年度	令和5年度			総事業費	16,383千円	
これまでの主な取組と成果	南部ふれあいプラザの耐震診断を実施し、耐震の基準値を満たさないことが判明したため、耐震補強工事実施設計業務を事業者に委託した。					
令和5年度 (予算)	取組内容	南部ふれあいプラザの耐震診断を実施し、耐震補強工事実施設計業務を事業者に委託した。				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,383 千円			12,300		4,083
主な経費	南部ふれあいプラザ耐震診断等業務委託料 2,655千円 南部ふれあいプラザ耐震補強工事実施設計業務委託料 13,728千円					

主要・新規事業等

事業名等													みんなでまちづくり事業（こども若者会議運営業務委託料）【新規】																																			
担当グループ													企画部総合政策グループ																																			
総合計画区分													基本目標 I 手を取り合って みんなでまちをつくろう						個別目標 (1) ずっと住みたいまちを みんなで一緒につくります																													
予算区分													会計 一般会計		款 02総務費		項 01総務管理費		目 12企画費		事業名 03みんなでまちづくり事業																											
アクションプラン													<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない																																			
事業概要	事業の必要性・実施の背景													令和5年4月1日よりこども基本法が施行し、こども施策の基本理念として、こどもたちが意見を表明する機会や多様な社会的活動に参画する機会を確保されることが掲げられ、社会全体でこどもたちの意見を傾聴する重要性が高まっている。																																		
	目的（何のために）													こども施策に限らず、こどもや若者に本市のおかれている現状や目指そうとしている未来について知ってもらい、自分たちの住むまちのことを自分事として考え、発信する場を設けるため。																																		
	対象（誰・何を対象に）													小学校高学年から大学生																																		
	事業内容（手段、手法など）													《実施内容》 こども若者会議の運営を委託する。 《手段》 ・小学校高学年から大学生を対象に参加者を募集する。 ・こども若者会議を4回開催し、意見をとりまとめ、報告書を作成する。																																		
目指す成果（期待される効果）													こどもや若者が市政に関心を持ち、自分たちで考え、発信できるようになる。																																			
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）													目標（何をどのようにする）									達成時期（いつまでに）																										
													参加者（こども・若者）を30人集める。 若い世代が意見を表明できる社会参加の場を創出する。									令和6年11月																										
令和6年度													事業費（経費）			国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源																								
													391 千円									391																										
事業費積算内容													こども若者会議運営業務委託料 391千円																																			
令和6年度													4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
													第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期																										
事業実施スケジュール													契約事務			参加者募集			会議開催（会議計4回			うち1回発表会）			報告書作成																							
予算書及び予算説明書該当ページ													111ページ																																			



主要・新規事業等

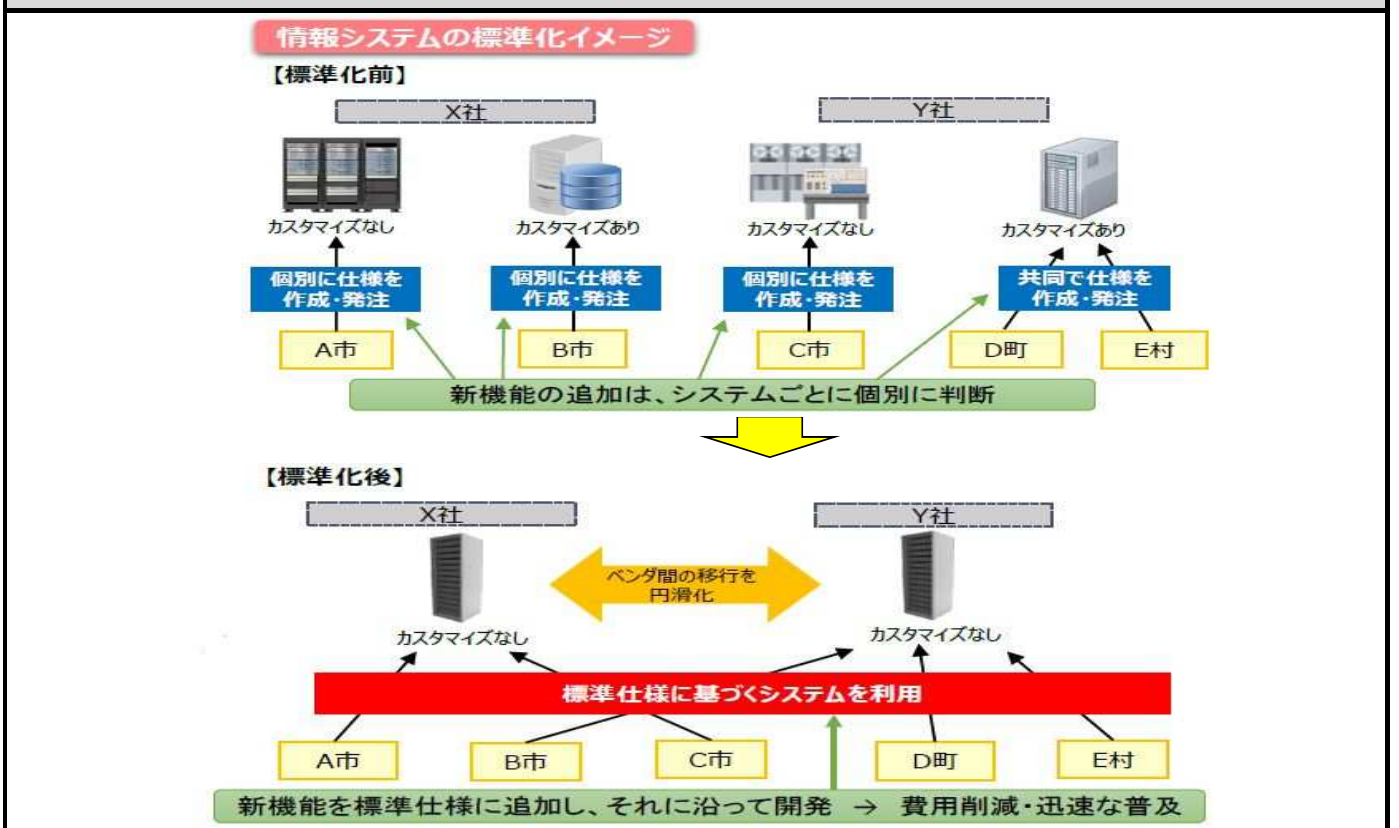
事業名等	総合住民情報管理事業 (自治体情報システム標準化・共通化業務委託料) 【継続】													
担当グループ	企画部 ICT推進グループ													
総合計画区分	基本目標	I 手を取り合って みんなでまちをつくろう						個別目標	(1) ずっと住みたいまちを みんなと一緒にづくります					
予算区分	会計	一般会計		款	O2総務費		項	O1総務管理費		目	14電算管理費			
	事業名	O1総合住民情報管理事業												
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	国により、「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」が施行され、地方公共団体の情報システムの標準化の対象となる事務20業務に対し、標準化基準に適合したシステムの利用を義務付けるとともに、国による全国規模のクラウド基盤を活用して情報システムを利用するよう努めることとされている。												
	目的 (何のために)	標準化対象事務20業務を標準準拠仕様にシステム構築をし、国による全国規模クラウド基盤(ガバメントクラウド)へ移行するため。												
	対象 (誰・何を対象に)	標準化対象事務20業務												
	事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画立案(推進体制の立ち上げ、現行システムの概要調査、標準仕様との比較分析、移行計画作成)</li> <li>システム選定(ベンダに対する情報提供依頼(RFI)資料の作成、RFIの実施等)</li> <li>移行(標準準拠仕様にシステム構築し、ガバメントクラウドへ移行)</li> </ul>												
目指す成果 (期待される効果)	標準準拠システムに移行し、標準化対象事務20業務(基幹システム業務)について、高浜市が個別に関与する必要がなくなることで、人的・財政的負担の軽減を目指す。													
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)			
	ガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへの移行										令和8年3月			
令和6年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)										
	51,150千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			10,223			
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自治体情報システム標準化・共通化業務委託料 51,150千円</li> <li>・住民記録、印鑑登録業務の標準準拠システムへの移行</li> <li>・固定資産税、個人住民税、法人住民税、軽自動車税等業務のFit&amp;Gap分析</li> </ul>													
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	(1)打合せ													
	(2)契約事務													
	(3)標準準拠システムへの移行(住記、印鑑業務)													
									(4)Fit&Gap分析(税業務)					
予算書及び予算説明書該当ページ	115ページ													



## これまでの主な取組と成果

事業年度	令和2年度 ～ 令和5年度	総事業費	9,636千円		
これまでの主な取組と成果	<p>令和2年12月「自治体DX推進計画」（総務省）の重点取組事項の一つとして「自治体の情報システムの標準化・共通化」が示され、令和7年度までに標準化対象事務20業務の標準準拠仕様対応及びガバメントクラウドへ移行することとなっており、令和5年度に標準化対象事務20業務のうち、住民記録及び印鑑登録業務のFit&amp;Gap分析及び文字情報基盤文字への文字データ移行を行った。</p> <p>また、併せて令和5年7月にすべての国内ベンダを対象にRFIの実施、10月に全職員を対象とした総務省デジタル統括アドバイザーによるシステム標準化に関する研修、11月及び12月に二役及び各部局長にシステム標準化への対応方針の説明及び令和6年1月に標準化対象事務20業務の各担当者を対象としたシステム標準化説明会を開催した。</p>				
令和5年度 (予算)	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民記録及び印鑑登録業務のFit&amp;Gap分析</li> <li>・文字情報基盤文字への文字データ移行</li> </ul>			
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）			
	9,636 千円	国庫支出金 9,636	県支出金	地方債	その他 一般財源
	主な経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体情報システム標準化・共通化対応業務委託（住民記録及び印鑑登録におけるFit&amp;Gap業務） 5,214千円</li> <li>・自治体情報システム標準化・共通化対応業務委託（文字同定業務） 4,422千円</li> </ul>			
令和4年度 (決算)	取組内容	自治体の情報システムの標準化・共通化に関する国等から提供された情報の収集及び基幹システムベンダとの情報共有等。			
	事業費（経費）	財源内訳（単位：千円）			
	千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他 一般財源
	主な経費				

## 資料等（位置図等）



主要・新規事業等

事業名等	防犯活動推進事業（防犯カメラ設置費補助金）【新規】											
担当グループ	都市政策部防災防犯グループ											
総合計画区分	基本目標：Ⅳ心もからだも元気 毎日を笑顔で暮らそう						個別目標：(13) 防災・防犯の意識が高い まちづくりを目指します					
予算区分	会計	一般会計		款	02総務費		項	01総務管理費		目	16防犯対策費	
	事業名：02防犯活動推進事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	市単独で設置する防犯カメラは、高浜市防犯ネットワーク会議で各町内会・まち協の意見を反映しながら設置している。										
	目的 (何のために)	安全で安心なまちづくりを推進し、犯罪の抑止及び防犯力の向上を図るため。										
	対象 (誰・何を対象に)	防犯カメラを設置するまちづくり協議会及び町内会										
	事業内容 (手段、手法など)	新たに防犯カメラを設置したまちづくり協議会及び町内会に対して、対象経費の2分の1（上限200千円）を補助することによって、地域単位での防犯カメラの設置を促す。										
目指す成果 (期待される効果)	犯罪の抑止及び防犯力の向上が実現し、犯罪の少ない、安全・安心なまちであると実感できる。											
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）	
	まちづくり協議会及び町内会管理の防犯カメラの設置基数50台 (毎年5台×10年)										令和16年3月	
令和6年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
	1,000 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			500	
事業費積算内容	設置費1台あたり400千円×1/2×5団体（見込み）＝1,000千円 （1台あたりの設置費400千円は、市が設置している防犯カメラと同程度の性能を有するカメラを電柱共架した場合の金額）											
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	<div style="text-align: center;">             申請受付、審査、補助決定、交付              </div>											
	<div style="text-align: center;">             申請受付、審査、補助決定、交付              </div>											
予算書及び予算説明書該当ページ	117ページ											



主要・新規事業等

事業名等	ICT推進事業・市税賦課事業・戸籍住民基本台帳事務事業 (キャッシュレス決済導入業務委託料等) 【新規】											
担当グループ	企画部ICT推進グループ・市民部税務グループ・市民部市民窓口グループ											
総合計画区分	基本目標	I 手を取り合って みんなでまちをつくろう					個別目標	(3) 時間と場所を選ばない 行政サービスを提供します				
予算区分	会計	一般会計	款	02総務費	項	01総務管理費	目	12企画費				
			款	02総務費	項	02徴税費	目	01賦課徴収費				
			款	02総務費	項	03戸籍住民基本台帳費	目	01戸籍住民基本台帳費				
事業名 10ICT推進事業・03市税賦課事業・03戸籍住民基本台帳事務事業												
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	令和2年12月、総務省において「自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画」が策定された。自治体においては、自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用し、住民の利便性を向上させること、及びデジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図ることが求められている。										
	目的(何のために)	様々な決済・支払について支払手段が多様化しており、窓口における手数料支払のキャッシュレス化を実施し、市民等の利便性向上に資するため。										
	対象(誰・何を対象に)	各種証明書等の交付を受け、手数料の支払をする市民等										
	事業内容(手段、手法など)	各種証明書等の手数料支払におけるキャッシュレス決済を行うための環境を構築する。										
目指す成果(期待される効果)	利用者が、財布から現金を出すことなく手数料を支払うことを可能とすることで市民等の利便性の向上につながる。 市においては、自動釣銭機により現金を数えて受け渡す時間や金銭を管理する手間がなくなることで業務の効率化が図られ、釣銭の渡し間違いによる会計トラブルもなくなる。											
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)	
	来庁者が各種証明書等の手数料を支払う際、キャッシュレス決済による支払を可能とする。										令和6年10月	
令和6年度	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)									
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源					
		4,779 千円						4,779				
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス決済システムLAN回線工事費146千円 (ICT推進G)</li> <li>・キャッシュレス利用手数料198千円 (市民窓口G 99千円・税務G 99千円)</li> <li>・キャッシュレス決済手数料67千円 (市民窓口G 53千円・税務G 14千円)</li> <li>・自動釣銭機・決済端末保守業務委託料269千円 (市民窓口G 179千円・税務G 90千円)</li> <li>・キャッシュレス決済導入業務委託料768千円 (市民窓口G 405千円・税務G 363千円)</li> <li>・キャッシュレスネットワーク使用料44千円 (市民窓口G)</li> <li>・機械器具費3,287千円 (市民窓口G 2,186千円・税務G 1,101千円)</li> </ul>											
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	●プロポーザル募集公表											
	●プロポーザル実施											
	●業者決定・契約											
				システム導入準備								
							●広報・HP等による周知					
							10/1より導入開始					
予算書及び予算説明書該当ページ	113,121~127ページ											

## 資料等（位置図等）

【参考】キャッシュレス決済導入イメージ

POSレジの様子



窓口の様子



（写真提供）三鷹市

主要・新規事業等													
事業名等	老人憩の家等管理運営事業 (高浜老人ふれあいの家改修工事費)【新規】												
担当グループ	福祉部健康推進グループ												
総合計画区分	基本目標	Ⅳ 心もからだも元気 毎日を笑顔で暮らそう						個別目標	(12) 一人ひとりと地域全体の健康づくりを応援します				
予算区分	会計	一般会計	款	03民生費	項	01社会福祉費	目	06高齢者社会参加推進費					
	事業名: 01老人憩の家等管理運営事業												
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	市内にある宅老所は開所から20年以上が経過しており、今後施設を維持していくためには多くの費用が見込まれる。送迎サービス等を利用することで、耐震性が確認された高浜老人ふれあいの家に宅老所機能の集約が可能であることから、現在使用できない部屋(浴室)を改修する必要がある。											
	目的(何のために)	高浜老人ふれあいの家を改修し、宅老所機能を集約するため。											
	対象(誰・何を対象に)	高浜老人ふれあいの家											
	事業内容(手段、手法など)	高浜老人ふれあいの家改修工事を実施する。 (浴室を高齢者が使用できる部屋に改修し、いきいきクラブ活動や宅老所運営など、高齢者が集う場を創出する)											
目指す成果(期待される効果)	高齢者が集う場を創出することにより、利用者同士の新たな交流や活動が活発となり、介護予防につながる。また、施設を集約することにより、建物等の借地料や使用料及び修繕費の削減が可能となる。												
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)		
	高浜老人ふれあいの家改修工事を実施し、宅老所機能を集約する。										令和7年3月		
令和6年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)									
	9,546千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			46		
事業費積算内容	高浜老人ふれあいの家改修工事費 9,546千円												
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール			入札	契約締結	改修工事		移転準備など						
予算書及び予算説明書該当ページ	143ページ												

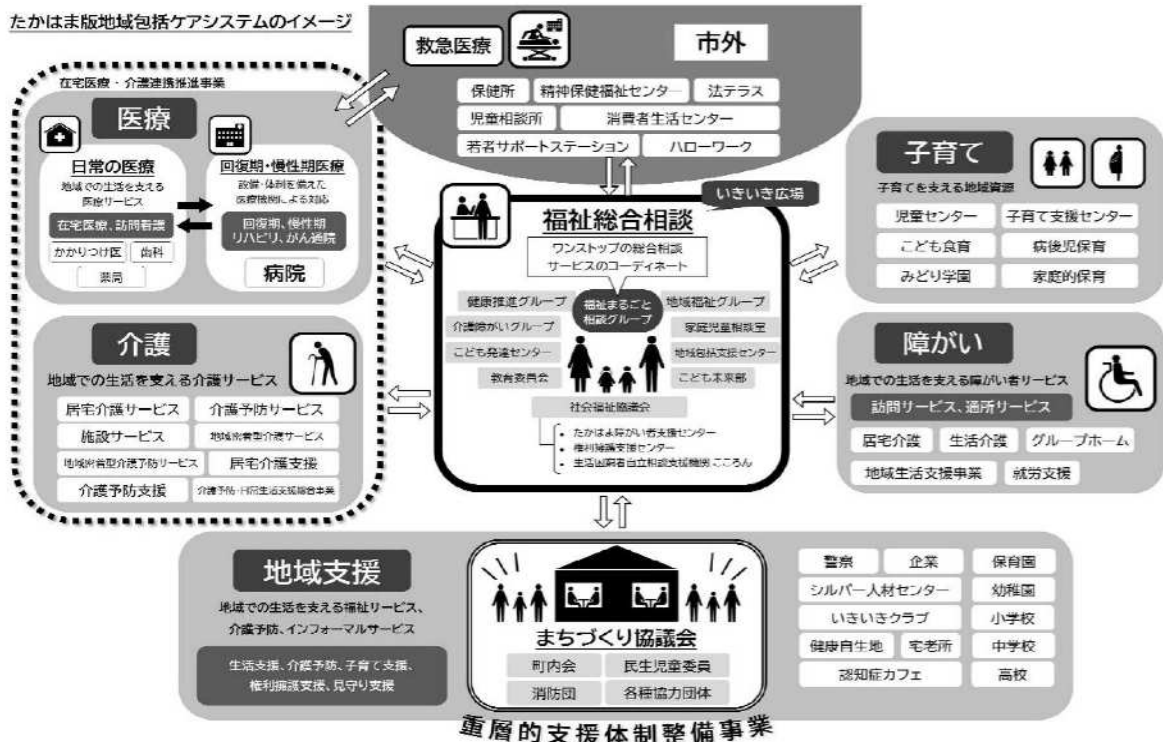






# 資料等(位置図等)

たかはま版地域包括ケアシステムのイメージ



## 主要・新規事業等

事業名等	保育園管理運営事業 （吉浜北部保育園空調設備更新工事費）【新規】											
担当グループ	こども未来部こども育成グループ											
総合計画区分	基本目標 II みんなで学び・高め合い 高浜の未来を育もう						個別目標 (5) 多様な主体が 子育て・子育てを支えます					
予算区分	会計 一般会計		款 03民生費		項 02児童福祉費		目 02保育サービス費					
	事業名 03保育園管理運営事業											
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景 吉浜北部保育園長寿命化工事を令和7年度に延期したが、エアコンについては平成12年度に設置したもので、経年使用による機能低下のため、長寿命化改修工事に先んじて、更新する。											
	目的 （何のために） 保育室及び職員室（体調不良児童のベッド設置場所）の適正な温度管理のため。											
	対象 （誰・何を対象に） 吉浜北部保育園 保育室（5部屋）、職員室											
	事業内容 （手段、手法など） 《実施内容》 9月までに各部屋のエアコンを更新する。 《手段・手法》 4月 設計 5月～ 入札・契約 6月中旬～9月 工事期間 ※保育に支障をきたさないよう、土日を中心に工事を実施する。											
目指す成果 （期待される効果） エアコンの更新により、児童の熱中症や体調不良を予防し、保育環境を整える。												
目標設定 （なるべく定量的な目標値を記入）												
目標（何をどのようにする）										達成時期（いつまでに）		
保育室5部屋及び職員室のエアコンを更新し、適正な室温を確保する。										令和6年9月末		
令和6年度	事業費（経費）			財源内訳（単位：千円）								
	7,434 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			34	
事業費積算内容 吉浜北部保育園空調設備更新工事費 6,758千円×1.1=7,434千円												
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	設計											
		入札・契約										
			工事期間									
予算書及び予算説明書該当ページ			155ページ									

主要・新規事業等													
事業名等	老人・成人保健事業 (自殺対策計画策定業務委託料等) 【新規】												
担当グループ	福祉部健康推進グループ												
総合計画区分	基本目標	Ⅳ 心もからだも元気 毎日を笑顔で暮らそう						個別目標	(12) 一人ひとりと地域全体の健康づくりを応援します				
予算区分	会計	一般会計		款	04衛生費		項	01保健衛生費		目	02保健・予防費		
	事業名: 01老人・成人保健事業												
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	自殺対策基本法が制定され、これまで「個人の問題」とされてきた自殺問題を「社会全体で取り組むべき課題」と捉え、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指すとともに、すべての市町村で「自殺対策計画」を策定する必要がある。											
	目的 (何のために)	令和元年度に策定した「たかはま自殺対策計画」の計画期間が、令和6年度で終了することから、新たな自殺対策計画（以下「第2次自殺対策計画」という。）を策定するため。											
	対象 (誰・何を対象に)	市民											
	事業内容 (手段、手法など)	令和6年度中に「たかはま自殺対策計画」の評価と「第2次自殺対策計画」の策定を行う。 <手法> ・アンケートを実施し現状把握することで、自殺対策計画の評価と分析を行う。 ・策定委員会を開催し、計画がより実効性を持つよう意見聴取する。 ・パブリックコメントを実施し、市民の意見を聴取する。 ・市民に公表する。											
目指す成果 (期待される効果)	「第2次自殺対策計画」を策定し、自殺死亡率等の目標を設定することにより、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指す。												
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)		
	自殺死亡率等について、「第2次自殺対策計画」で設定した目標値を目指す。										令和7年3月		
令和6年度	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)										
	4,508 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						4,508
事業費積算内容	自殺対策計画策定委員会委員謝礼 174千円 自殺対策計画策定業務委託料 4,334千円												
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	◎ 契約 【業務委託】 計画の策定支援、会議運営支援、計画書の印刷等 →												
	【策定部会】 アンケート調査、分析、計画策定作業 →												
	【策定委員会】 ◎第1回			◎第2回			◎第3回						
予算書及び予算説明書該当ページ	167~169ページ												

主要・新規事業等													
事業名等	老人・成人保健事業 (健康たかはま21計画策定業務委託料等) 【新規】												
担当グループ	福祉部健康推進グループ												
総合計画区分	基本目標	Ⅳ 心もからだも元気 毎日を笑顔で暮らそう						個別目標	(12) 一人ひとりと地域全体の健康づくりを応援します				
予算区分	会計	一般会計	款	04衛生費		項	01保健衛生費		目	02保健・予防費			
	事業名	01老人・成人保健事業											
アクションプラン	<input checked="" type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない												
事業概要	事業の必要性・実施の背景	令和5年5月に、国から国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な事項である「健康日本21（第三次）」が示され、市においても健康増進法に基づき、健康増進計画（健康たかはま21）の評価、新計画の策定を行う必要がある。											
	目的（何のために）	現計画である「第2次健康たかはま21」の計画期間が、令和6年度で終了することから、第2次計画の評価を行うとともに、新たに第3次計画を策定するため。											
	対象（誰・何を対象に）	市民											
	事業内容（手段、手法など）	令和6年度中に第2次計画の評価と第3次計画の策定を行う。 <手法> ・アンケートを実施し現状把握することで、第2次計画の評価と健康課題の分析を行う。 ・策定委員会を開催し、計画がより実効性を持つよう意見聴取する。 ・パブリックコメントを実施し、市民の意見を聴取する。 ・市民に公表する。											
目指す成果（期待される効果）	「第3次健康たかはま21」を策定し、健康づくり活動を総合的に推進することで、市民の健康寿命の延伸・健康格差の縮小を目指す。												
目標設定（なるべく定量的な目標値を記入）	目標										達成時期（いつまでに）		
	健康寿命の延伸・健康格差の縮小を目指すため、健康づくり活動を総合的に推進し、個人の行動と健康状態の改善を促す。										令和7年3月		
令和6年度	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）										
	4,812 千円		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			4,812			
事業費積算内容	健康たかはま21計画策定委員会委員謝礼 209千円 第3次健康たかはま21計画策定業務委託料 4,603千円												
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施スケジュール	◎ 契約	【業務委託】 計画の策定支援、会議運営支援、計画書の印刷等											
		【策定部会】 アンケート調査、分析、計画策定作業											
		【策定委員会】 ◎第1回			◎第2回			◎第3回					
予算書及び予算説明書該当ページ	167～169ページ												

主要・新規事業等

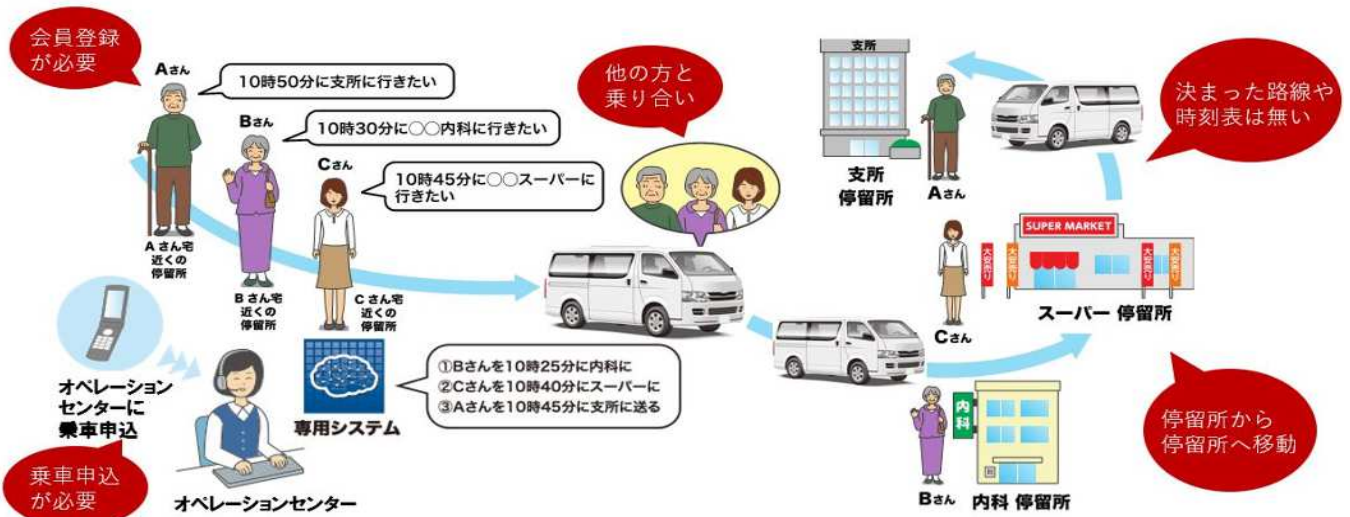
事業名等	環境衛生対策推進事業 (カーボンニュートラル推進支援補助金) 【新規】													
担当グループ	市民部経済環境グループ													
総合計画区分	基本目標	Ⅲ 行きたい住みたい住み続けたい 魅力がにつながるまちをつくろう						個別目標	(10) 人と地球にやさしい きれいなまちをつくります					
予算区分	会計	一般会計			款	04衛生費		項	01保健衛生費		目	04環境保全推進費		
	事業名	04環境衛生対策推進事業												
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない													
事業概要	事業の必要性・実施の背景	本市の二酸化炭素(CO <sub>2</sub> )排出量のうち、約7割が産業部門である。そこで環境基本計画(地球温暖化対策実行計画(区域施策編)含む)に基づき、市内事業者向けのカーボンニュートラルの推進を図る必要がある。												
	目的(何のために)	市内事業者向けのカーボンニュートラルの推進を図るため。												
	対象(誰・何を対象に)	市内事業者												
	事業内容(手段、手法など)	市内事業者において、電力使用等の「省エネルギー診断」を受けていただき、その診断結果に伴い、CO <sub>2</sub> 排出量削減のための新たな「設備導入」に対して補助を行う。 1. エネルギー管理士等による省エネルギー診断 (補助率: 1/2、限度額: 100千円) 2. 省エネルギー診断の結果に基づき、CO <sub>2</sub> 削減効果のある設備の導入 (補助率: 1/2、限度額: 500千円)												
目指す成果(期待される効果)	市内事業者が自らCO <sub>2</sub> を削減する行動を促し、カーボンニュートラルの推進を図る。													
目標設定(なるべく定量的な目標値を記入)	目標(何をどのようにする)										達成時期(いつまでに)			
	省エネルギー診断実施事業者 7件 省エネルギー設備等導入事業者 7件										令和7年3月			
令和6年度	事業費(経費)			財源内訳(単位: 千円)										
	4,200 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			4,200			
事業費積算内容	省エネルギー診断促進補助: 700千円(100千円×7件) 省エネルギー設備等導入促進補助: 3,500千円(500千円×7件)													
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期				
事業実施スケジュール	制度のPR													
	補助事業の実施													
予算書及び予算説明書該当ページ	173ページ													

主要・新規事業等

事業名等													コミュニティバス運行事業 (コミュニティバス運行事業費負担金)【新規】																																			
担当グループ													市民部経済環境グループ																																			
総合計画区分													基本目標 Ⅲ 行きたい 住みたい 住み続けたい 魅力がにつながるまちをつくろう						個別目標 (9) 地域経済を活性化し、 元気なまちをつくります																													
予算区分													会計 一般会計			款 07商工費			項 01商工費			目 04コミュニティ交通費																										
アクションプラン													■該当する □該当しない																																			
事業概要	事業の必要性・実施の背景													10年先を見据えると、さらに高齢化が進展し、免許返納等による交通弱者の増加が見込まれる。市民アンケート等の結果から、市内を気兼ねなくちょっと移動できる利便性の高い移動手段の確保が求められている。また、コミュニティバスと外出促進施策等を連携させることにより、元気で住みやすいまちの実現が期待されている。																																		
	目的 (何のために)													誰一人取り残さない利便性の高い移動手段を確保し、住みやすいまちの実現を図るため。																																		
	対象 (誰・何を対象に)													市民																																		
	事業内容 (手段、手法など)													<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポンサーが協賛する事業所停留所、多くの人々が利用する公共施設等停留所、地域と協議し設置する地域停留所を市内全域に設置する。予約に応じて、停留所間を結ぶ乗合型のA1オンデマンドバスを実証運行する。</li> <li>・利用者の予約に応じてA1が最適な配車(乗降時刻と停留所決定)をする、A1を活用した運行システムを採用する。</li> </ul>																																		
目指す成果 (期待される効果)													誰一人取り残さない利便性の高い移動手段の確保及び高齢者の外出支援等、他の施策と連携し、住みやすいまちの実現を図る。																																			
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)													目標 (何をどのようにする)						達成時期 (いつまでに)																													
													①利用者満足度 34%→60% ②停留所200m圏内カバー率 約49%→100% ③事業者スポンサー数 20社以上 ④年間実利用者数8,700人						令和7年9月																													
令和6年度													事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)																																
													17,704 千円			国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源																								
																				615		17,089																										
事業費積算内容													事業費(コミュニティバス運行事業負担金)17,704千円 ・運行費(車両運行、コールセンターの運営費等) ・事業周知及びスポンサー募集費(ポスター、チラシ、停留所看板作成等)																																			
令和6年度													4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
													第1四半期						第2四半期						第3四半期						第4四半期																	
事業実施スケジュール													■高浜市地域公共交通会議 スポンサー募集・停留所の設置						■高浜市地域公共交通会議 実証運行に係る申請支援・認可						■高浜市地域公共交通会議 実証運行						■高浜市地域公共交通会議 住民説明会・広報等による周知																	
予算書及び予算説明書該当ページ													187ページ																																			

# 資料等(位置図等)

## 《デマンドバスの運行イメージ》

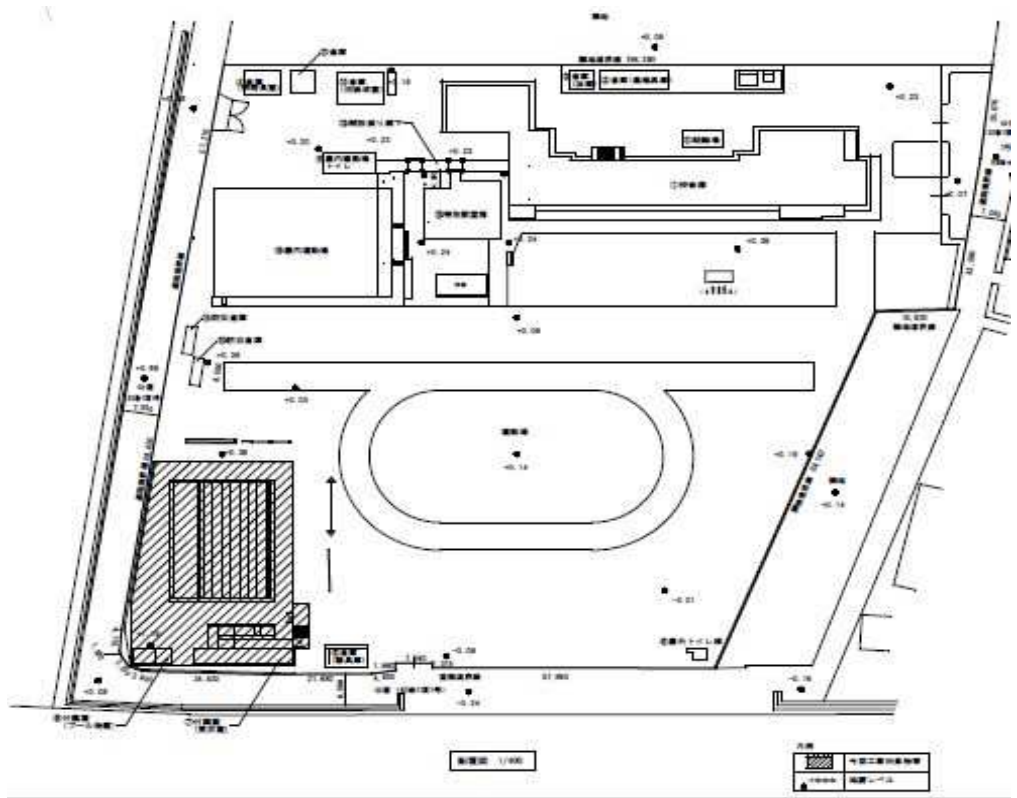


主要・新規事業等

事業名等	小学校長寿命化改良事業 (港小学校プール解体等工事費等) 【新規】											
担当グループ	教育委員会学校経営グループ											
総合計画区分	基本目標 II みんなで学び・高め合い 高浜の未来を育もう						個別目標 (6) 自分・仲間・社会の幸せのために 学び続ける子どもを育みます					
予算区分	会計	一般会計		款	10教育費		項	02小学校費		目	03学校建設費	
	事業名 02小学校長寿命化改良事業											
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	令和7年度から予定している港小学校長寿命化改良工事では、現在の駐車場が使用できなくなるため、前年度の令和6年度中にプールを解体し跡地に駐車場を整備する。										
	目的 (何のために)	駐車場を確保し、長寿命化改良工事中の学校運営を円滑に行うため。										
	対象 (誰・何を対象に)	港小学校生徒・教諭										
	事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール解体工事</li> <li>・駐車場整備工事</li> <li>・防球ネット設置工事</li> </ul>										
目指す成果 (期待される効果)	駐車場を確保し、工事中の学校運営を円滑に行う。											
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)	
	プールを解体し、跡地に駐車場を整備する。										令和7年3月	
令和6年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)								
	139,271 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源				
					125,200	14,000	71					
事業費積算内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事費 134,530千円</li> <li>・工事監理業務委託料 4,741千円</li> </ul>											
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	契約手続き			港小学校プール解体等工事								
予算書及び予算説明書該当ページ	215ページ											



資料等(位置図等)



主要・新規事業等

事業名等	<b>中学校維持管理事業                  (南中学校外壁等改修工事設計業務委託料) 【新規】</b>											
担当グループ	教育委員会学校経営グループ											
総合計画区分	基本目標 II みんなで学び・高め合い 高浜の未来を育もう						個別目標 (6) 自分・仲間・社会の幸せのために 学び続ける子どもを育みます					
予算区分	会計	一般会計	款	10教育費	項	03中学校費	目	01学校管理費				
	事業名 02中学校維持管理事業											
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	南中学校校舎は、建築後46年が経過し、老朽化による外壁の劣化が見受けられる。生徒・教諭の安全確保及び施設の長寿命化を図る必要がある。										
	目的 (何のために)	教育環境の安全確保及び施設の老朽化対策を図る改修工事の実施設計を行うため。										
	対象 (誰・何を対象に)	南中学校生徒・教諭										
	事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外壁の現況調査</li> <li>改修工事の実施設計</li> </ul>										
目指す成果 (期待される効果)	生徒・教諭の安心・安全を確保するとともに、施設の長寿命化を図る。											
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)	
	令和7年度からの改修工事に向けて、設計を完了する。										令和7年3月	
令和6年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)								
	8,754 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			54	
事業費積算内容	南中学校外壁等改修工事設計業務委託料 8,754千円											
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	入札・契約											
		外壁調査		実施設計								
予算書及び予算説明書該当ページ			217ページ									



主要・新規事業等

事業名等	幼稚園維持管理事業 (吉浜幼稚園長寿命化改修工事費等) 《債務負担行為》 【継続】											
担当グループ	こども未来部こども育成グループ											
総合計画区分	基本目標 II みんなで学び・高め合い 高浜の未来を育もう						個別目標 (5) 多様な主体が 子育て・子育てを支えます					
予算区分	会計	一般会計		款	10教育費		項	04幼稚園費		目	01幼児教育費	
	事業名: 03幼稚園維持管理事業											
アクションプラン	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない											
事業概要	事業の必要性・実施の背景	築51年以上が経過し、吉浜幼稚園の東園舎が老朽化している。										
	目的 (何のために)	現在の園舎を建替えることなく概ね80年活用するために、経年劣化を回復するとともに機能向上を図る。										
	対象 (誰・何を対象に)	吉浜幼稚園東園舎										
	事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年9月契約、令和5年度に引き続き長寿命化改修工事を行う。</li> <li>令和5年度に第1期工事、令和6年度に第2期工事を行う。</li> <li>長寿命化改修工事の監理を委託する。</li> </ul>										
目指す成果 (期待される効果)	令和6年度中に東園舎の長寿命化改修工事をしゅん工する。											
目標設定 (なるべく定量的な目標値を記入)	目標 (何をどのようにする)										達成時期 (いつまでに)	
	長寿命化改修工事をしゅん工する。										令和7年3月	
令和6年度	事業費(経費)			財源内訳(単位:千円)								
	183,453 千円			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			123	
			19,330	0	128,700	35,300						
事業費積算内容	吉浜幼稚園長寿命化改修工事費 177,194千円 吉浜幼稚園長寿命化改修工事監理業務委託料 6,259千円											
令和6年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
事業実施スケジュール	※令和5年度から継続			長寿命化改修工事 →								
予算書及び予算説明書該当ページ	221~223ページ											

これまでの主な取組と成果						
事業年度	令和5年度		総事業費	79,880千円		
これまでの 主な取組 と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1期工事が完了した。</li> </ul>					
令和5年度 (予算)	取組内容	2か年にわたる工事を4工程に分け、そのうち第1工程が完了した。(教室2部屋の改修)				
	事業費(経費)	財源内訳(単位:千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	79,880 千円	7,929		55,800	13,000	3,151
主な 経費	吉浜幼稚園長寿命化改修工事費 74,652千円 吉浜幼稚園長寿命化改修工事監理業務委託料 5,228千円					

